

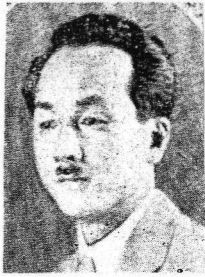
船氣津次郎 船 翻譯家、小説家。明治二十一年一月二十九日愛媛縣生れ、昭和五十年五月二十一日歿（一八八一—九五）。筆名船氣津、水上規矩夫。明治四十一年慶應義塾大學豫科中退。やまと新聞社を経て、大正五年大阪毎日新聞社入社。

譯書「オスカヤ・ワイルド」(大正二年十一月十五日春陽堂「現代文藝叢書」)、ゼ・ビ・スピノ著(ライダヤ・スコット英譯)「書簡ナラ・アンヂェリコ」(和田英作共譯、大正八年十月二十日玄文社)、
「アナトオル・アラン」著「エビキエテス」(大正八年十一月十五日天祐社)、モオリス・メエテルリンク作「マダダラのマリヤ」(大正九年一月二十五日玄文社)、ジョン・ゴルズウオーシイ作「争闘」

(大正九年七月十二日叢文閣「労働文藝叢書」)、清新 小説「英米七人集」(大正十一年九月十日大阪毎日新聞社)、サム・ヘルマン、チ・ビ・ダノヴァン

作「犯罪本能」(水上規矩夫名、大正十二年七月二十五日大阪毎日新聞社)、怪奇 「コーナン・ドイル作「探偵妖魔の足」」(大正十四年五月十五日博文館「探偵傑作叢書」)、ストウ作「ヤンクル・トムス・ケビン」

(昭和二年九月十日改造社「世界大衆文學全集」)、再刊、十四年二月二十七日「世界大衆文學名作選集」)、ジャック・ロンドン作「奈落の人々」(昭和四年十二月二日改造社「改造文庫」)、H・B・ストウ作「アインクル・トムズ・ケビン」全二冊(上巻、下巻、昭和二十四年十一月十日創元社)等。



編著書、馬場孤蝶口譯「西洋頓智集」(筆記、大正四年二月十七日實業之世界社)、
「死刑囚の手記」

(編、大正八年五月一日玄文社)、
「犯罪王カホネ」(昭和六年八月

十六日改送症()等。